

「自閉症を正しく理解するということ」

～自閉症の支援で最も大切なこと～

■「自閉症」とその支援を正しく理解するための講演会■

自閉症の人たちに適切な支援をするために必要なこと。言うまでもなく、それは「自閉症の人たちを正しく理解すること」です。

いま世界で最も認められ、実践されている自閉症の人たちへの支援モデルであるTEACCHプログラムを今日の世界規格に育て上げた米国ノースカロライナ大学のゲーリー・メジボフ教授による、自閉症を正しく理解し、適切な支援をするための「世界で最も分かりやすい講演会」です。

講師

ゲーリー・メジボフ

(米国ノースカロライナ大学教授 TEACCH部元部長)

とき

2014年8月31日(日)10時00分～16時15分

ところ

秋田市文化会館 大ホール

(秋田市山王七丁目3-1)

定員

800人

参加費

3,240円(税込)

申し込み

FAX、Eメール、ハガキでお申し込みください。
詳しくは裏面をご覧ください。

主催

秋田県発達障害者支援センター
日本自閉症協会
朝日新聞厚生文化事業団

後援
(予定)

厚生労働省 文部科学省
秋田県 秋田市 秋田県教育委員会
秋田県医師会 秋田労働局
秋田LD・AD/HD親の会アインシュタイン

Program プログラム

9:30 受付

10:00 ~ 12:00

講演

「自閉症の人たちの学習スタイル～正しく理解する」

13:00 ~ 14:30

講演

「構造化された指導～自閉症の学習スタイルに合わせた支援」

14:45 ~ 16:15

講演

「自閉症の支援で最も大切なこと～TEACCHプログラムのコアバリュー」

Profile プロフィール

ゲアリー・メジボフ 米国ノースカロライナ大学教授 TEACCH部元部長

自閉症の人たちの教育、福祉、行政サービスや研究など、あらゆる分野にわたる先駆的なアプローチによって高い評価を得ている米国ノースカロライナ州のTEACCHプログラムの総責任を長年担い、同プログラムを世界的なプログラムに育て上げた最大の功労者です。

TEACCHプログラムでは、自閉症の人たちのバリアフリーを進めるためには、その自閉症の人たちの障害を正しく理解することが最も重要であるとし、その上で彼らに最も適した教育の方法やコミュニケーションの支援、社会的なサポートのあり方といったトータルな支援を追及し続け、実践を広げています。

今回の講演会では、自閉症の人たちを支援する上で最も重要な「自閉症の人たちの学習スタイル」を正しく理解することから、その学習スタイルに合わせた支援の具体的方法として「構造化された指導」について、また、自閉症の人たちの支援者としてぜひ身につけておきたい「自閉症の支援で最も大切なこと」についてご紹介します。

お申し込み

FAX、Eメール、ハガキのいずれかで、

- ①氏名
- ②〒・ご住所
- ③TEL・FAX番号
- ④ご職業
- ⑤会場名(秋田会場)を明記の上、下記申し込み先までお申し込みください。

※お申し込み後、10営業日以内に予約確認書兼請求のご案内をお送りします。ご案内に記載の期日までに参加費をご入金ください。

※お電話でのお申し込みは受け付けておりません。

申し込み・問い合わせ

近畿日本ツーリスト(株)第7営業支店「秋田講演会」係
〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-13
住友商事神田和泉町ビル12F
FAX 03-6891-9407 TEL 03-6891-9456
Eメール knt-ecc703@or.knt.co.jp

営業時間(月)～(金) 10:00～17:00

※土・日・祝休み

内容に関するお問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
TEL 03-5540-7446 FAX 03-5565-1643
<http://www.asahi-welfare.or.jp/>



秋田市文化会館

- JR秋田駅西口から秋田中央交通
西口1番線、2番線、6番線、8番線乗り場からバス15分
「文化会館八橋球場前」下車 徒歩1分